

県内総合

建設情報 /wate

今後は市の医療施策など協議

地域医療 第5回会合で中間とりまとめ

奥州市が地域医療体制の再構築に向け、郷右近浩市長と地域医療関係者が対話する場として設置した地域医療検討会議の第5回会合は24日、奥州市役所で開かれた。今回は、これまでの会議で出され



地域医療検討会議の第5回会合

た意見を踏まえた中間とりまとめを行ったほか、今後のスケジュールが示された。

開会に先立ち、郷右近市長は「さまざま活発な意見をいただきながら、市内の必要な医療や将来の医療需要の試算をいただけた。これらを基に最終とりまとめをしていく前段として、今回、中間とりまとめに向かう会議としていきたい」とあいさつした。

意見交換は、非公開で実施された。中間とりまと

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

めの内容をはじめ、当日出された意見などは、各委員の了承を得た後に市ホームページに公表する予定。加えて、市議会の9月定例会で、議員からの一般質問のタイミングなどで、内容に関して示すことも考えられるとしている。

市では、新医療センターに関して、現在の整備基本計画を一旦中断し、実質的に事業を凍結。地域医療の在り方をゼロベースから再検討する方針を示している。地域医療体制の再構築に向けた今後の進め方の一つとして、地域医療関係者と対話する場を設定した。

会議は、市、奥州医師、管内の県立2病院、2民間病院、市立の総合水沢病院とまごころ病院で組織するほか、オブザーバーとして県奥州保健所、県健康福祉部、県医療局が参加。公立と民間の医療機関の役割分担や連携の在り方、進め方などについて意見交換し、一定の方向性を見出していく。

5月から始まった会議は、これまでに4回開催。▽会議のテーマ、

持ち方、進め方等▽将来の人口推計と医療需要の変化▽入院機能の役割分担と連携▽救急機能、在宅医療、外来機能等について、これまで協議してきた。第5回の会議は、これまでの意見交換を踏まえた「中間とりまとめ」を行った。

今後、第6回から第9回の会議では、第5回までの課題分析などを踏まえ、市が実施すべき医療施策などについて、意見交換する予

定。検討会議を終えた後には、成果を最終とりまとめとして公表する予定でいる。

第6回から第8回は、9、10月に開催予定。最終の第9回を11月中旬ごろに開き、最終とりまとめを行う。最終とりまとめを参考として、「（仮称）奥州市地域医療グランドデザイン」を策定する予定でいる。

受変電設備ほか改修設計公告

県医療局 申請期限は9月2日正午

県医療局は25日付で、条件付一般競争入札で実施する「岩手県立宮古病院受変電設備及び非常用発電設備ほか改修工事設計業務」を公告した。参加申請書の提出期限は9月2日正午。入札は同月9日に予定されている。（関連7面）

業務対象施設は、宮古市崎鉾ヶ崎第1地割11番地26に位置する宮古病院。委託期間は180日間を予定している。

特記仕様書で示されている施設の条件などを見ると、延べ床面積は2万4415.33平方㍎（既設建物）。

主要構造は、鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造で、地下1階、地上9階建て、塔屋2階で構成される。

同業務では、同病院の各種電気設備に係る改修工事に向けて、設計を実施する。施工内容としては、受変電設備改修工事、非常用発電設備改修工事、無停電電源装置改修工事などが想定されている。

予定工事費は11億2747万7000円（税抜き）。建設工期は未定で、委託業務において概略工事工程表を作成することとしている。

農業農村整備の城内地区2号業務を公告

＝県久慈審査指導監＝

県北広域振興局久慈審査指導監は24日付で、簡易総合評価落札方式（簡易2型）で実施する「農業農村整備事業調査城内地区第2号業務委託」を公告した。入札参加希望者は、入札参加申請書を電子入札システムにより9月7日正午までに提出すること。入札については、15日に予定されている。

業務対象地域は洋野町種市地内。履行期間は2027年3月15日までと設定されている。

同業務では、ほ場整備事業を計画している城内地区（同町）において、事業計画を策定するための数値地形図（地図情報レベル1000）を作成する。

主な業務内容は、数地図化1.39平方㍎、3級水準測量7.4㍎、一筆田面標高測量0.65平方㍎などとなっている。

けんせつ女子大募集！

「スマイル☆けんせつ女子部」に登場していただける方を募集しています。年齢や経験年数などは問いません。詳しくは編集部まで。

TEL 019-623-8201（代表）
E-mail: henshu@nikkaniwate.co.jp

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



令和8年熊本地震と岩手県内の活断層

岩手大学理工学部システム創成工学科准教授

岡田 真介

7月28日16時27分頃に熊本県熊本地方の深さ16kmにおいてマグニチュード7.1の地震が発生し、熊本県宇城市および氷川町で、最大震度7を記録した（以下、マグニチュードはMとする）。今回の大地震を発生させた日奈久断層帯は、熊本市の南東部から南西の方向に向かって八代海まで延びる全体で約81kmにもおよぶ長い断層帯である（図1）。日奈久断層帯は、北側から高野一白旗区間、日奈久区間、八代海区間の三つに分かれているが、今回の地震では、それらのうち、高野一白旗区間と日奈久区間がずれ動いた

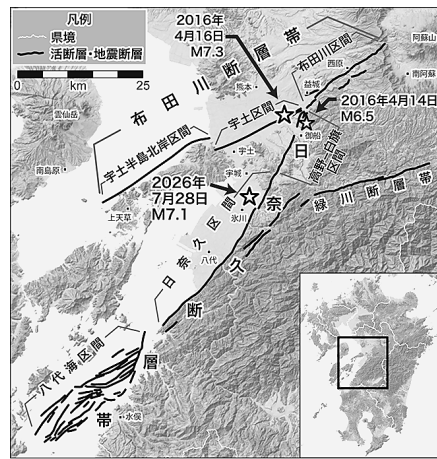


図1. 布田川断層帯および日奈久断層帯の活断層分布と平成28年および令和8年熊本地震の震央位置。活断層の分布は、地震調査研究推進本部の資料から作成。

ことによる。実際に、地震直後の調査から、熊本県御船町高木から八代市平山新町付近にかけての30km以上にわたって（地表）地震断層が連続的に確認されている。地震断層は、地下の震源付近で生じた岩盤のずれが地表にまで達して、地盤のずれを発生させているものであるから、その地震断層の地下では活断層（震源断層）が確実にずれ動いている。報告によると、今回の地震に伴う地震断層は、右横ずれが最大で2m、上下のずれも最大で1mに達する地点が確認されており、高速道路や新幹線などの交通インフラにも大きな被害を与えている。

10年前に発生した平成28年熊本地震（M7.3）は、布田川断層帯と日奈久断層帯とが鋭角に合わさった付近を震源としており、布田川断層帯のうち布田川区間と宇土区間の東側の一部が主にずれ動いている。また、日奈久断層帯の高野一白旗区間の一部においても地表地震断層が確認されているため、これらの区間も活動していると考えられ、地震時に出現した地震断層は30km以上に及ぶ。

活断層が地震を発生させる際には、活断層帯全体が一つの地震で動く（破壊する）と考えられている断層帯もあるが、セグメントとも呼ばれるい

くつかの区間に分かれて、活動する場合もある。また、隣接する活断層帯やセグメントが活動すると、隣の活断層帯やセグメントが活動しやすくなる場合もある（活断層の分布の方向とずれのタイプによっては、隣接していても動き難くなる場合もある）。

平成28年と令和8年の熊本地震が隣接した活断層帯およびセグメント（区間）で、活動したことから考えると、岩手県周辺では、横手盆地東縁断層帯および真昼山地東縁断層帯、雫石盆地西縁断層帯、北上低地西縁断層帯に関して、近年発生した地震との関係性を考えると注意が必要である（図2）。

横手盆地東縁断層帯および真昼山地東縁断層帯では、1896年にM7.2の陸羽地震が発生しており、両断層帯の北部（田沢湖東側の生保内（おぼない）断層の一部も含めて）には地震断層が生じている。しかし、両断層帯の南部では、地震断層は確認されていないため、両断層帯の南部は1896年の地震では活動していない、いわゆる割れ残りと考えられる。

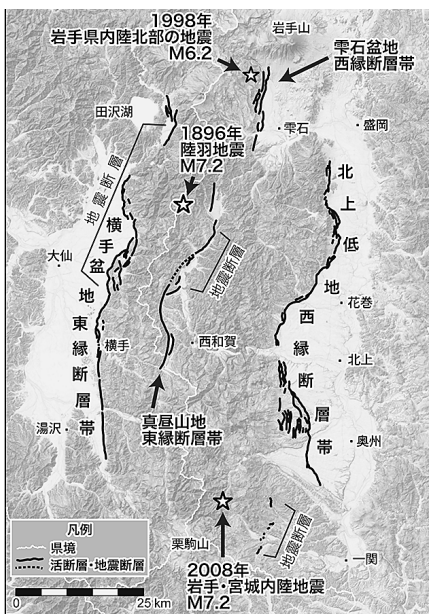


図2. 岩手県内の主な活断層と過去の大地震の震央と地震断層が生じた区間。活断層の分布は、地震調査研究推進本部の資料から作成。

雫石盆地西縁断層帯では、1998年にM6.2の岩手県内陸北部の地震が発生している。地震断層は雫石町篠崎付近で確認されたが、0.8km程度の区間であった。また、余震分布も断層帯北部を中心としている。さらに、断層帯全体がずれ動いた場合、M6.9の地震を発生させると考えられるため、1998年のM6.2の地震はそれに比べてはるかに小さい（Mの数値では、0.7しか違わないが、地震が発生させるエネルギーで考えると10分の1にも満たない）。よって、雫石盆地西縁断層帯の一部が破壊を生じたに過ぎず、同様に割れ残りが存在する可能性が高い。

北上低地西縁断層帯の地下では、有史に大地震を起こしたという記録はないものの、2008年の岩手・宮城内陸地震が断層帯の南西側で発生しており、この地震に伴う地震断層は震源の東側に出現している。地震断層は断続的ではあるが、20km程度の区間で確認されている。余震もM7.2の震源から北北東―南南西方向に約50km以上にわたって分布しており、栗駒山の南側から胆沢川の付近にまで（北上低地西縁断層帯の直近まで）達することが分かっている。

陸羽地震からは130年経過しており、人間の時間感覚からすると昔の地震であると考えてしまうが、地質学・地質学の時間スケールからすると、それほど長い時間ではない。また、過去に大きな地震を発生させているから、しばらくはその周辺で大きな地震は発生しないとは考えにくく、むしろ隣のセグメント（区間）や隣接する断層帯では、大地震を発生する可能性があるため、岩手県内の活断層に関しても決して楽観視はできない。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

～ 地域の環境整美 ～

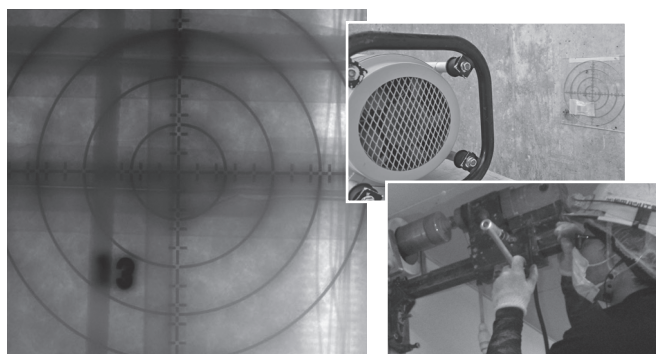
・草刈作業
・除草剤
・散布作業

・ラジコン草刈機2台
・クサカルゴン 2台
・乗用草刈機他 各種用意
・切株切削機（マルチャー）
・農業管理指導士在籍



株式会社 御幸造園
代表取締役 千葉 幸
〒029-4204 奥州市前沢字長樋116
TEL0197-56-6020 FAX0197-56-4120

岩手県の企業では「初」のX線の非破壊検査をします



ハツリ工事、あと施工アンカー、鉄筋探査、コア抜き、
カッター工事、解体工事、切断解体工事、耐震スリット
工事、樹脂接着剤注入工事、産業廃棄物収集運搬

株式会社 松田ハツリ工業

岩手県紫波郡紫波町中島字前郷171
☎019-676-3520 https://matuda-haturi.com/



chichiri
https://chi-chi-ri.com

お花と植物と防災用品のお店
松毬-chichiri-

〒020-0874

盛岡市南大通1-12-18 松栄館

盛岡劇場向かい

Tel.019-623-3814

Fax.019-601-7222

flower@chi-chi-ri.com



松栄商事の
物販店

【取扱商品】
消火器／安全靴／安全帯／ヘルメット／作業着／
危険物標識／メガホンサイレン／AED／
熊撃退スプレー／防災用品全般 など

株式会社 佐藤興産

ECOセンター

産業廃棄物の見積・契約・搬入予約等
産業廃棄物に関するご相談はこちらまで

環境部リ-ダイヤル 0120-310-202

リサイクル処理品目

石膏ボード、木材、プラスチック、畳、ガラス陶磁器くず、
コンクリート、繊維くず、アスファルト、鉄くず、紙くず、伐根材等

〒020-0403 岩手県盛岡市乙部5-320-1
TEL:019-656-1188/FAX:019-656-1189



自然に優しい環境づくりを思考する

SATO KOUSAN



URL: www.sato-im.com

（一社）日本塗装工業組合会員 岩手県塗装工業組合会員

建築・橋梁塗装・各種吹付・各種防水工事・樹脂注入

各種塗装工事／各種防水工事／断熱工事 請負

●金属焼付塗装全般 ●木工塗装 ●FRP塗装

取 扱 商 品

特殊セラミック塗材 ガイナ塗膜（㈱日進産業）

●省エネ効果…断熱・遮熱・耐久
●快適空間…防音・防露・消臭・透湿・防雨・防護・安全・癒し
●機 能 性…防汚・弾性・不燃・簡単施工

環境対応型光触媒塗料 エヌティオ（日本特殊塗料㈱）



有限 吉田 塗装工業
会社

盛岡市川目町23番5号（盛岡市中央工業団地）
☎019-624-4390（代表）FAX019-654-5398

E-mail y-paint@ia8.itkeeper.ne.jp